

概要

椿いづみの作品「月刊少女野崎くん」という漫画の中でのヒロインの佐倉千代における男性語の使い方の変体

ナタシャ

2014110049

日本文学部日本語学科

この論文で椿いづみの作品「月刊少女野崎くん」という漫画を解析する。この漫画の話題はヒロインの佐倉千代が野崎くんという漫画家に好きな気持ちを持つことについての話である。筆者はその漫画の中で佐倉千代というキャラクターにおける男性語の使い方の変体を見つけた。このテーマを解析するには、ミレスとヒューマンの分析学のモデルの記述的な方法によってその変体の形や原因を知るために使用する。結果として佐倉千代というキャラクターにおける男性語の使い方の変体は二つの分類から成り立って、考え分類と会話分類に選り分けることが明らかになった。考え分類には32データからイー形容詞と「かな」、「な/なあ」、「ぞ」の終助詞の変体が見つかった。そして会話分類には16データからイー形容詞と「かな」、「な/なあ」、「ぜ」の終助詞の変体が見つかった。その変体の要因はたいてい佐倉千代というキャラクターが考えや会話の中で気持ちを表したいからである。

キーワード：変体、男性語、ヒロイン、漫画